



(写真) Vente Venezuela “野党統一プラットフォーム・MCM氏 コリナ・ジョリス氏を代理候補に指名”

2024年3月22日(金曜)

政治

- 「[野党 コリナ・ジョリス氏を統一候補に指名
～哲学・論理学などを専攻するベテラン教授～](#)」
- 「[UNT ボリバル支部 何者かから攻撃受ける](#)」
- 「[垂 PDVSA クリプトの被疑者をベネに引渡し](#)」

経済

- 「[米国 石油産業への制裁緩和維持の可能性](#)」
- 「[カルドン製油所で爆発 少なくとも4名が怪我](#)」
- 「[Laser Airline カラカス～マドリッド間運航開始](#)」

社会

- 「[TT ベネ移民虐待的待遇で感謝料37万ドル](#)」

24年3月23-24日(土・日)

政治

- 「[MUD・UNT ジョリス氏の出馬申請不可
～ウルグアイ国籍の保有が争点?～](#)」
- 「[野党 出馬申請期限の3日間延長を要請](#)」
- 「[12の政党がマドゥロ大統領を推薦](#)」
- 「[ベンジャミン・ラウセオ氏 出馬申請を完了](#)」

経済

- 「[動物性たんぱく質の消費量 年60キロ/人](#)」
- 「[2月の医薬品販売 前年同期比48%増](#)」

社会

- 「[宗教行事パルメロ・デ・チャカオ実施](#)」

2024年3月22日（金曜）

政治

「野党 コリナ・ジョリス氏を統一候補に指名
～哲学・論理学などを専攻するベテラン教授～」

3月22日 主要野党を中心とする野党連合「統一プラットフォーム」および急進野党「Vente Venezuela」のマリア・コリナ・マチャド氏（以下MCM）は、記者会見を実施。

7月28日に予定されている大統領選の野党統一候補について、MCM氏に代わりコリナ・ジョリス氏（以下ジョリス氏）を指名すると発表した。

MCM氏は、2023年10月の予備選挙で勝利し、野党統一候補に選ばれた。

しかし、行政監督庁はMCM氏に15年の公職権停止措置が命じられていたと発表。最高裁がこの決定を追認したことで、MCM氏の大統領選出馬は絶望的になっていた。

ジョリス氏は、2022年11月に発足した予備選挙運営委員会の役員。それまでは政界との直接的な関係はなく、学術分野に身を置いてきた人物。

ジョリス氏は、1944年3月17日生まれ。カラカス生まれの80歳の女性である。息子は3人、孫は7人。

アンドレス・ベジョ・カトリック大学、シモン・ボリバル大学などベネズエラ国内の大学で文学・哲学・歴史学などを専攻。他に、スペインのサラマンカ大学で論理・哲学を専攻した。

アンドレス・ベジョ・カトリック大学やメトロポリタン大学などベネズエラ国内の大学で教授や部長などを歴任。「ベネズエラ社会哲学・論理団体」の代表も務めた。

他にも哲学・論理学の分野で国際的に評価されている人物だという。

なお、ジョリス氏はあくまでMCM氏の代理候補。ベネズエラ憲法では、候補者の変更は大統領選開催の10日前まで可能であり、それまではMCM氏は公職権停止措置の解除を求め続けると説明した。



（写真） Vente Venezuela

“コリナ・ジョリス氏（写真右）を紹介するMCM氏”

また、MCM氏はジョリス氏が公職権停止措置を受けていない証拠として、CNEの有権者情報を公開（下写真）。ジョリス氏が大統領選に出馬できるとの見解を示した。



「UNT ポリバル支部 何者かから攻撃を受ける」

3月22日 「新時代党 (UNT)」のポリバル支部が攻撃を受け、窓ガラスの破壊・政党の旗を破るなどの被害を受けたという。

犯行は深夜に行われたようで、誰が行ったのかは不明のようだ。

UNT は、「平和的な選挙の実施を拒み、ベネズエラの民主主義の確立を阻もうとする勢力による仕業」と指摘。暴力行為を非難した。



(写真) UNT ポリバル支部

「亜 PDVSA クリプトの被疑者をベネに引渡し」

3月22日 アルゼンチン政府は、「ベネズエラの石油取引にまつわる犯罪行為に関与した人物をベネズエラ当局に引き渡す」と発表した。

“ベネズエラの石油取引にまつわる犯罪行為”とは、具体的には「PDVSA クリプト」と呼ばれる事件のことである。

約1年前の2023年3月、故チャベス政権時代からの与党重鎮タレク・エル・アイサミ氏が失脚した。

アイサミ氏は当時、石油相を務めていたが、彼の在任中に原油の販売収入を PDVSA 内部関係者で着服していたという。

検察庁の発表によると、汚職により漏出した金額は55億ドルを超えるとしている。

この着服スキームには、マドゥロ政権が運用していたデジタル通貨「Petro」が使用されていた。

デジタル通貨は取引の監視が困難であることを悪用し、「デジタル通貨監督局 (Sunacrip)」のジョセリット・ラミレス局長らと結託し、着服を行っていた。

この事件で少なくとも61名が逮捕され、うち2名は拘束中に死亡。拷問死の可能性が指摘されている。

この一連の汚職事件は「PDVSA クリプト」と呼ばれている。

今回、アルゼンチン政府が引き渡す人物は、PDVSA クリプトに関与した人物で、エンテリオス県で拘束されたという。その人物の名前は公表されていないが、38歳で家族とエンテリオス県の Chajari で暮らしていたという。

経 済**「米国 石油産業への制裁緩和維持の可能性」**

2023年10月 米国政府は、ベネズエラの石油・ガス産業へ科していた制裁を緩和した。

この緩和措置は4月18日までの時限措置であり、マドゥロ政権が民主的な選挙を実施する姿勢を見せない場合、米国政府はこの制裁緩和を撤回するとの方針を示している。

期限まで1カ月を切っているが、現時点で米国政府は方針を明確に決めていない。

米国ホワイトハウスの John Kirby 報道官は、ベネズエラの情勢について懸念を表明。特にマドゥロ政権による MCM 氏関係者の拘束などについて「強く懸念している」との見解を示した。

一方、Kirby 報道官は「米国政府は、バルバドス合意の順守をサポートするため、制裁緩和を継続する用意がある」とコメント。緩和措置を維持する可能性を留保した。

本稿「[野党 コリナ・ジョリス氏を統一候補に指名](#)」で紹介した通り、野党は MCM 氏の後任候補としてジョリス氏を指名した。

ジョリス氏の大統領選出馬をサポートするため、米国政府が制裁緩和を維持する可能性はありそうだ。

「Laser Airline カラカスーマドリッド間運航開始」

「Laser Airline」は、6月3日からカラカスーマドリッド（スペイン）間の運航を開始すると発表した。

使用する機体は「Airbus A330」。エコノミー、エコノミープレミアム、ビジネスの3タイプがある。

カラカス発は午後6時30分で、マドリッド着は午前9時15分。運航は月曜・水曜・金曜の週3便。

マドリッド発は午前11時15分で、カラカス着は午後2時50分。運航は火曜・木曜・日曜の週3便を予定している。



LASER Airlines
La vida es un buen viaje

A partir del 3 de junio.
Llegamos a MADRID

Vuela en nuestro Airbus A330 en el mejor horario.

Conoce nuestro itinerario

Caracas - Madrid (lunes, miércoles y viernes)	Madrid - Caracas (martes, jueves y domingo)
SL 18:30 - LL 09:15	SL 11:15 - LL 14:50

(写真) Laserairline

「カルドン製油所で爆発 少なくとも4名が怪我」

3月22日午前4時50分ごろ ファルコン州パラグアナ精製コンプレックスにあるカルドン製油所で爆発が起きた。

爆発の証言者によると、蒸留施設「CD-3」が高温になりすぎて制御できなくなり、配管に火花が発生し、ガソリンに引火し、爆発したという。

正確な被害状況は不明だが、少なくとも4名の労働者が火傷など負傷を負ったという。

火は約1時間で消火され、同日中には稼働が再開したという。

社会

「TT ベネ移民虐待的待遇で賠償金37万ドル」

ベネズエラ移民が急増した際、ベネズエラに近い島国トリニダード・トバゴ（以下 TT）には大量の不法移民が流入した。

当時、TT は急増するベネズエラ移民への対応に苦慮し、取り締まりを強化したが、その際の拘束と拘留が非人道的だったとして国際的な批判を受けた。

特に13歳の子供とその母親が2020年12月15日～22年3月16日まで TT で拘留され続け、この対応について精神的な苦痛と児童虐待を理由に TT にて裁判が行われていた。

TT の最高裁判所は、「児童の拘束は不当なものであり、適切な送還指令や拘束指令がなかった」と判断。

TT 政府は、母親と児童に対して37万ドルの賠償金を支払うことになったという。

2024年3月23日～24日（土曜・日曜）

政治

「MUD・UNT ジョリス氏の出馬申請不可

～ウルグアイ国籍の保有が争点?～」

本稿「[野党 コリナ・ジョリス氏を統一候補に指名](#)」の通り、MUD と MCM 氏はコリナ・ジョリス氏を野党統一候補に指名することを決定した。

CNE は、「野党統一連合(MUD)」と「新時代党(UNT)」を政党として認識しており、野党グループがコントロールしている政党は実質的にこの2党だけになる。

従って、MUD と UNT はコリナ・ジョリス氏の候補者申請を行おうとしているが、CNE の申請サイトにアクセスできない状態が続いているという。

大統領選の候補者申請期限は3月25日まで。つまり、あと1日で出馬手続きを完了させる必要があり、早急に問題を解決しなければならない。

申請手続きが出来ない理由は定かではないが、最も有力視されている可能性は、「ジョリス氏が2重国籍を持っている可能性があり、CNE が受け入れを拒んでいるのではないか」という説である。

ジョリス氏の夫は2011年に他界しているが、彼はウルグアイ国籍だったという。その関係で彼女がウルグアイ国籍を保有している可能性があるとの指摘がある。

与党国会のイリス・バレラ議員は「MCM 氏の後任として指名されたコリナ・ジョリス氏はベネズエラとウルグアイの二重国籍を保有しているため、憲法41条に従い大統領選に出馬することはできない」と指摘している。

憲法第41条には「ベネズエラ生まれで他の国籍を保有していないベネズエラ人だけが、大統領・副大統領・国会議長・国会副議長・最高裁判長・選挙管理委員長（一部略）を担うことが可能」と定められている。

本件について、ジョリス氏は「Gran Aldea」のインタビューにて、二重国籍を保有している可能性を否定。

「私は二重国籍を保有したことはない。私の夫は13年前に他界した。彼はウルグアイ人だったが、ベネズエラに帰化した。私はどこの国籍も取ろうとしたことはない」とコメントしている。

また、ウルグアイのパブロ・ビアナ議員は、「ジョリス氏はウルグアイ国籍を保有していない」との声明文を発表。バレラ議員の発言を否定した。

「野党 出馬申請期限の3日間延長を要請」

「統一プラットフォーム」は、CNE に対して、候補者の出馬受入期間を3日間伸ばすよう要請した。

前述の通り、野党統一候補に指名したジョリス氏の出馬申請が出来ず、その問題が解決していない。

統一プラットフォームは、ジョリス氏の出馬申請ができないことを「不当であり、憲法で保障された権利の侵害」と主張。問題を解決するために受入期間の引き延ばしを求めた。

CNE が定めた大統領選の出馬受け付け期限は3月25日なので、3日間引き延ばした場合、3月28日(木曜)ということになる。

「12の政党がマドゥロ大統領を推薦」

与党「ベネズエラ社会主義統一党 (PSUV)」は、ニコラス・マドゥロ大統領を推薦候補とすることを決めた(「ベネズエラ・トゥデイ No.1038」)。

与党には、PSUV を中心とする「Gran Polo Patriótico」という与党同盟グループが存在しており、通常同グループの政党はマドゥロ大統領を支持することになる。

現在、PSUV と足並みを揃えてマドゥロ大統領を推薦することを決めた政党は、

「ベネズエラ共産党 (PCV)」「Podemos」

「Tupamaro」「MEP」

「UPC」「ORA」「PPT」「UPV」

「Somos Venezuela」「Alianza para la Cambio」

「Partido Verde」の11政党。

「PSUV」も含めて12政党となっている。

「ベンジャミン・ラウセオ氏 出馬申請を完了」

3月24日 独立野党のベンジャミン・ラウセオ氏は、自身が発足した政党「Conde」から出馬申請を行った。

世論調査によると、ラウセオ氏は、MCM 氏の次に野党支持者から支持を受けている人物。

MCM 氏がジョリス氏を後任候補に指名したことで、野党候補の中ではジョリス氏に次いで支持を受けている人物ということになるだろう。

なお、ラウセオ氏の他には

「AREPA」のダニエル・セバジヨス氏

「ベネズエラ第一党 (PV)」のホセ・ブリト氏

「El Cambio」のハビエル・ベルトウッチ氏

穏健派「行動民主党 (AD)」のルイス・エドゥアルド・マルティネス氏

「鉛筆同盟 (AL)」のアントニオ・エカリ氏

「解決党 (Soluciones)」のクラウディオ・フェルミン氏

「国民民主権」のルイス・ラッティ氏

などの野党系候補者が出馬している。



(写真) ベンジャミン・ラウセオ氏 X

経済

「動物性たんぱく質の消費量 年間60キロ/人」

「全国食肉評議会（Convecar）」の Luis Pérez Stuve 代表と「バッファロー飼育団体」の Rafael Urdaneta 代表は、ラジオのインタビュー番組に出演。

現在のベネズエラ人1人当たりの動物性たんぱく質食品（鶏肉・牛肉・卵・豚肉など）の消費量は、年間約60キロとコメントした。

これらの中で特に鶏肉消費量の増加が大きいようで、1人当たり12.5キロは消費しているという。

また、2023年に食肉業界で起きた特筆すべき変化について、「バッファロー牛乳の輸出」を挙げ、「輸出により外貨を稼ぐことができ、生産者の活動が楽になった」との見解を示した。

「2月の医薬品販売 前年同期比48%増」

「医薬品工業商工会（Cifar）」の Tito Lopez 代表は、ベネズエラの医薬品業界の状況について、「医薬品の充足率は96%であり、不足感はほとんどない」との見解を示した。

また、Lopez 代表によると、2024年2月の医薬品供給量は2,163万個。23年2月の1,457万個と比べて48.4%増えたという。

Lopez 代表は

「現在のベネズエラの医薬品市場は堅調で6年前と比べて様々なバリエーションの医薬品が販売されている」

「外国製品より国内産の医薬品の方が多い」

「外国の医薬品業界もベネズエラへの医薬品販売を再開している」とコメントした。

社会

「宗教行事パルメロ・デ・チャカオ実施」

ベネズエラの中で日本企業の拠点多いチャカオ市では「パルメロ・デ・チャカオ」という行事が行われる。

「パルメロ・デ・チャカオ」は、200年以上続く行事で、今年も3月23日（土曜）に350人を超える人々が参加したという。

「パルメロ・デ・チャカオ」は、キリスト教の「セマナサンタ（復活祭に先立つ一週間の期間を祝う期間）」を祝うためにキリスト教信者がヤシの穂を持ち、カラカスのアビラ山を巡礼する宗教行事。

巡礼後、ヤシの穂は、ボリバル広場の教会に運ばれ、巡礼に参加した人々は教会でキリストの加護に感謝するという。

なお、セマナサンタのため、ベネズエラでは3月28日、29日は国民の祝日になる。



（写真）チャカオ市 X

以上